安全の為に行わなければならない改造

１） ワイヤーロック

オイルドレンボルト・オイルフェラーキャップ・オイルフィルター・オイルチェックボルトのボルト等は、ワイヤーロック加工を施す事。

２） ガソリンキャッチタンク

ブリーザー付き燃料タンク及キャブレターに必ずガソリンキャッチタンクを装着し、その中は空にしておく事
また、転倒時にガソリンがこぼれるのを防ぐ為キャブレターからのエアーベントからもチューブを出し、キャッチタンクに繋ぐ事。

３） オイルキャッチタンク

４サイクル車には、必ず金属製のオイルキャッチタンクを装着する事。取り付けは、ボルト又は金属製のバンドで行う事。

４） アンダーカウル

４サイクル車は、使用している車両のエンジンオイル総量を、受け止められる事の出来る容量の形状を確保している事。

５） スプロケットガード・チェーンガード

チェーンとスプロケットの間に、身体の一部が誤って挟まれる事の無いように、リアスプロケットガードの取り付けが義務付けられる。又チェーンガードの取り付けを推奨する。

６） 転倒時に、地面と接触する恐れのあるフェアリングに覆われていないオイルを保持する全てのエンジンケースは、２次カバーを取り付ける事を推奨する。

競技の中断

１） やむを得ない事情により、レースの続行が危険と判断された場合、事務局は走行中の全競技車両をただちに停止させる事が出来る。

２） 全車停止の場合は、赤旗が振動表示される。

３） 競技が中断された場合、ライダーは最大限の慎重さと注意をもって走行し、赤旗が振られた時のコントロールライン通過順に、スタートライン手前で２列に並べられる。

４）ピットイン及ピットレーン進入車輌の再スタートは、ピットレーン出口にて待機しなければならない。

５） 赤旗提示周回に追い越しをしたライダーは、５周減算のペナルティーとする。

レース再開

１） 危険な状態が解消した場合、事務局はレースを再開することが出来る。

２） スタート後、トップが３周を完走する前の赤旗に対する再スタートは、そのレースが開始される前の時点からのスタート進行に則して行なわれる。

３） スタート後、トップが３周以上完走した場合の赤旗に対する再スタートは、先導車によるローリングスタートとする。

４） ピットレーン待機車輌は、再スタート後、最後尾車輌がピットレーン出口を通過後、オフィシャルの指示に従ってスタートする事。

５） 赤旗再スタート方法は、ライダースミーティングで告示される。

ピット作業

１） ライダーは、レース中マシン調整や給油の為ピットに戻ることが出来る。

２） 燃料補給時には、燃料補給に携るスタッフは、保護具ならびに適切な防火服を推奨する。
最低でも、長袖、長ズボン、目の保護用ゴーグルは着用する事。

３） 各チームは、適切に作動する消火器を必ず準備する事。車検時に検査し車検ステッカーを貼る。

４） 燃料補給作業中、消火器を持って待機する要員を必ず１名用意する事。

５） 赤旗中断中に於いてのピット作業は出来ない。

６） 本事項の違反については、競技結果より３周減算のペナルティとする。

競技車両変更

１）レース競技中、重大なマシントラブル・転倒等、スタート車両が走行不可能となった場合、エンジン載せ換え又は車両交換が認められる。そのエンジン及び予備車両は、同クラス車両でなければならない。

２）スタート車両が走行不可能となった場合は事務局へ申告し、車検時に届けられた予備車両である事を事務局が確認した後出走を許可するが、この場合は賞典外走行となる。

３）予備車両からスタート車両への部品又は Assy のスワップは自由とする。但、エンジン Assy に限り１０周の減算とする。

４）予備車両以外の、エンジン単体での持ち込みは禁止する。予備車両は車検時にエンジン番号を確認出来る状態にし、車体への取り付けは正規の方法で搭載されていなければならない。但、予備車両の車検合格後にエンジン単体を下す事は認める。

５）予備車両のエンジンに交換してポイントを獲得した場合は、その車両に対しレース終了後にエンジン番号の確認を実施する。車検時に事務局が記録した番号と一致しない場合は失格とする。

ライダーについて

１）全ての参加者は、明朗かつ公正に行動しスポーツマンシップに則ったマナーを保つ事。

２）１チーム、５名迄で構成する事。エントリーしたチーム以外での走行は認められない。
但し、次戦にて、他チームからのエントリーは可能。

３）１チーム国際Ａ級ライセンスホルダーは１名とし、スタートライダーで有ってはならない。
２名以上の国際ライセンスホルダーのチームは、賞典外出走となる。

４）当レースに初参加又はレース経験の浅いライダーは、エントリー時に、事務局に届けなければならない。
そのライダーは、レース前練習走行にて、ゼッケンＮＯベストを着て必ず１回は走行する事。

５）練習走行又はレース中、タイム等を考慮し、事務局はベスト無しでも大丈夫と判断した場合は外すことが出来る。

６）ベスト着用ライダーに対する追い越しは、安全且スムーズでなくてはならず、危険な追い越しと、事務局が判断した場合、競技結果から３周の減算とする。

７）レース中、他のライダーに比べ速度が遅いライダーは、事務局よりゼッケン NO ベスト着用を要請する場合がある。

８）ツナギはＭＦＪ公認を推奨し、脊髄パッドは必ず装着する事。ヘルメットはＭＦＪ公認フルフェイスとする。グローブは皮製、ブーツはくるぶし迄保護する２輪用とする。

タイヤに付いて

１） タイヤの制限は無しとするが、スタート車輌が走行不可となり、代替車輌となる場合は

スタート車輌タイヤに変更しなければならない。

２） サイズが違う同クラスの車輌に変更の場合は、競技結果より５周減算とする。

３） 耐久レースなので、タイヤマネジメントもレース采配には大事なことであり、フレッシュタイヤに交換する時は、必ずピットインをして交換する事。

４） 代替車輌で、スタート車輌のタイヤを使用せずフレッシュタイヤに交換の場合は、時間経過により競技結果より減算する。１～４時間は５周、４時間以上は１０周とする。

特別規則

１）ピットロード走行速度が速く危険な為、ピットロード内では、１速走行（スクーターはその速度に準ずる）とし、安全な速度（20 km/ｈ程度）で走行する事。主催者、オフィシャルが判断し、余りにも早い車輌は、競技結果より５周減算とする。

２）ポイント獲得順位車輌（１～３位）は、主催者判断で排気量検査を行なえる事とする。該当車輌は、指示を受けた場合、速やかに排気量を測れるまで分解し提示する事。これを拒否した場合は失格とする。

３）本大会は、スポーツマンシップに則り競技会を運営するものであり、競技に参加又観客を含め、チーム間の抗議に付いては主催者に申し出る事とする。

４）此れに違反した競技参加者（チーム）は失格及観客は、退場とする。

エントリーについて

１）2016 年も、年間エントリー及２戦エントリーを受付ける。

２）受付開始は、平成２８年１月１８日（月）から平成２８年３月１２日（土）消印までとする。

３）エントリー用紙に全戦○をし、82.000 円（税込）を振込むこと。保険代別。

４） ２戦エントリーは、参戦番号に○をし、44,000 円（税込）を振込むこと。保険代別。

５）年間エントリーチームには、年間ゼッケンを与える。希望ゼッケンが有る場合はエントリー用紙に明記する事。但しランキング指定ゼッケン以外とする。

６）2016 ランキング指定ゼッケンチームも希望ゼッケンを受付ける。その場合ランキングゼッケンは欠番となる。

７）年間エントリーチームは、ライダー変更、保険加入が無い場合は、毎レース用紙の送付は要らない。但し、変更が有る場合は、メールにて事務局まで連絡する事。２戦エントリーも送付は要らない。

８）各レースにエントリーするチームは、25.000 円（税込）保険代別とし、各エントリー開始に申込書を送付する事。

９）スポーツ安全保険加入ライダーは、必ず氏名、年齢を明記する事。保険受付は、レース４日前に締切。それ以降の保険加入は出来ない。（名簿、着金確認後の適応となる為）

尚、当日ライダー変更は可能ですが、スポーツ安全保険には、上記の通り加入出来ません。

１０）スポーツ安全保険は、2016 年より４月１日～2017 年３月 31 日までに成りました。

１１）2016 年より、年間及２戦エントリーチームへの「参加受理書」は発行しません。ホームページに年間エントリーリストチームを掲載致しますので、確認下さい。毎エントリーチームに付ては、正式エントリーリストを持って受理と致します。

車載カメラに付いて

１）2016 年より車載カメラ撮影を許可する。カメラはボルトオンとし、テープ等で補強する事。走行中に転倒以外で脱落させた場合はペナルティとして減算する。車検時に装着の報告をする事。

２）ドローン撮影に付いては、サーキットコース頭上での撮影は禁止する。誤ってコース内に落下を防止する為。落下してもコース外の場合のみ撮影を許可する。

３）年々カメラ、動画も多彩になり、楽しい映像であれば、PANOLIN CUP の宣伝になるので盛り上げて行きたい。

４）転倒し車載カメラがコース上に脱落、オフィシャルが安全上速やかに撤去する際、コース外に放り投げる場合が有ります。故障してもチーム及ライダーの責任と致します。

レース抗議に付いて

１）正式に登録されたライダーのみが、抗議申し立てが出来る。

２）抗議はレースがスタートし終了、確定結果までとする。

３）確定結果後の抗議は、一切受け付けない。

シリーズポイントに付いて

１）各レースに下記ポイントが与えられる。

１位３０P、２位２５P、３位２０P、４位１５P、５位１０P、

６位８P、７位６P、８位４P、９位２P、１０位１P

２）最終戦で決定したシリーズポイントトータルが同ポイントの場合は、全戦の周回数合計が多い方が上位とする。

３）同周回数の場合は、入賞回数が多い方が上位とする。